



社屋外観

異物混入削減に向けた 高生産性最新鋭機導入計画



実施した事業の概要と成果

処理工場から供給される原料肉には骨などの異物が混入していることがあり、そのまま出荷されると異物混入のクレームとなる。現行の手作業による検品とX線検査装置による検査では異物の検出が不十分であり年間数十件のクレームが発生している。検品工程に多くの時間と人手を投入しているが抜本的な解決ができていなかった。

最新鋭の「デュアルセンサー搭載X線異物検査装置」を原料及び製品検査工程に導入した。これまでは検出不可能であった極小さな骨なども検出可能となり、品質向上によるクレームの削減ができた。今後、生産性向上により、製造量増大や販路拡大の効果が期待できる。



導入設備：最新鋭 X線異物検査装置



最新鋭X線異物検査装置導入ライン



製品開発や課題解決の具体的取組み

近年、食鳥処理は機械化が進み自動化されている。鶏の骨はもろく、小骨も多いことから正肉には骨が残存しやすくなっている。骨は異物とみなされ、形状によっては人体への影響もあり、検品工程は非常に重要になっている。

最新鋭の「デュアルセンサー搭載X線異物検査装置」を導入し、異物検出能力の検証を行った。

①3次加工加熱加工製造工程

検出不可能であった極小さな骨の検出が可能となり、原料段階での品質が向上したことにより、最終製品での異物検出率が半減し、製品の廃棄が削減できた。

②2次加工未加熱切身加工品製造工程

導入機のカスタマイズと作業手順の見直しで、クレームゼロに近づくほどの非常に高い検出精度が実現できた。

③2次加工未加熱切身加工バラ凍結品製造工程、他
従来機と比べ、ささみで31.6%、むね肉で18.2%、他の製品を含めると13.6%の検出率向上が確認できた。



ささみ、むね肉、もも肉 で検出された骨

事業者	貞光食糧工業株式会社
代表者	代表取締役 辻 貴博
設立年月	昭和22年12月
所在地等	〒779-4192 徳島県美馬郡つるぎ町 貞光字馬出43-10 TEL：0883-62-3182 FAX：0883-62-5118 http://www.sadamitsu-shokuryo.jp/
事業区分	ものづくり技術
資本金額	3,000万円
従業員数	348人
業 種	食料品製造業

貞光食糧工業株式会社 の

代表取締役

辻 貴博



本事業取組みへのきっかけと目的

高生産性最新鋭機を導入し、生産効率と品質を向上させることで供給不足・機会損失等の問題を解消し、安心・安全な商品の増産と安定供給を実現する。既存取引先への出荷量の拡大と、海外を視野に入れた新規顧客の獲得を目指す。

今後の展望と活動予定

本事業により、品質向上によるクレームの削減に大きな効果を得る事ができた。今後は増産体制を固め、より多くの雇用と、より質の高い地域経済への貢献が実現できるよう計画を推進し、実行に努めていく。